

「捨てる」と「버리다」との対照研究

李忠奎*
ch4229@hanmail.net

＜目次＞

- | | |
|------------|-------------|
| 1. はじめに | 4.1. 単純動詞の例 |
| 2. 辞書の意味記述 | 4.2. 複合名詞の例 |
| 3. 考察資料 | 4.3. 動詞結合の例 |
| 4. 具体的な分析 | 5. まとめ |

主題語: 除去動詞(Removal verb)、対照研究(Contrastive Study)、複合名詞(Compound Noun)、動詞結合(Verb Combination)、複合動詞(Compound Verb)、補助動詞結合(Auxiliary Verb Combination)

1. はじめに

日本語には除去動詞と分類できる「廃する、除く、落とす、外す、捨てる、払う」のような複数の動詞があり、その具体例の一つとして「捨てる」が含まれる(国立国語研究所2004: 240)。そして、それに対応するものとして韓国語には「버리다」がある。

- (1) a. コンビニのごみ箱にゴミを捨てたI。
b. 편의점 쓰레기통에 쓰레기를 버렸다.

(1)で見るように、両者の間には基本的に対等な対応関係が認められる。その一方で、当該の例が用いられた種々の事例を観察すると、他の多くの例と同様に、両者の間にも興味深い相違点が指摘できる。

* 西原大学校 教養学部 助教授

1) 本稿における例文は、先行研究や辞書から引用したもの・インターネットから得られたもの・作例を用いるが、先行研究の例文を除いて逐一出典は示さない。但し、全例文に対して母語話者のチェックを受けている。

- (2) a. 使い捨てのライター
 b. *쓰고 버림의ライター
 c. 쓰고 버리는ライター
 d. 일회용ライター

例えば、「使い捨て」は名詞としてライターと接続するためには「の」の介在を必要とするが、これの逐語訳として挙げられる「쓰고 버림」という名詞形は(2b)のような使い方が許容されない。この場合、容認可能な形態としては、(2c)のように動詞結合「쓰고 버리다」の連体形を用いるか、(2d)のように「버리다」が全く表面化されない「일회용」という別の名詞で表す必要がある。「～捨て」と「～버림」の間に見られるこのような相違点は、안(2002: 231-241)などで議論されている「名詞中心の日本語」「動詞中心の韓国語」のような特徴づけを試みる際に、該当する具体的な事例として注目に値する。

- (3) a. 약속을 깜박 잊어 버렸다.
 b. *約束をうっかり忘れて捨てた。
 c. 約束をうっかり忘れてしまった。

(3a)の「버리다」は、通常、補助動詞と分析されるものであり、同一の用法が現代語の「捨てる」にはないという点は、両者間に見られるまた別の相違点になる。

本稿では、(2)と(3)のような相違点に着目して、除去動詞「捨てる」と「버리다」を対照言語学の観点から考察する。具体的には、単純動詞として用いられる場合のみならず、複合名詞や動詞結合の構成要素として用いられる場合も含めて対照分析を行い、両者間に見られる共通点と相違点を提示する。今まで調べた範囲では、両動詞を対照言語学の観点から考察したものはないようであり、その主な原因としては、(1)のような共通点のみが強く認識されたこと、また、相対的に補助動詞結合「～てしまう」と「～어 버리다」の対照の方に注目が集まってきたことが挙げられる。しかし、「捨てる」と「버리다」の間には(2)のような興味深い相違点も観察されるので、数多くの事例を綿密に考察すると、有意義な結果を導き出すことができると思われる。そして、その成果は日韓両言語の動詞の性質を理解する上で一助になるものと期待される。なお、李(2016)では「죽다」と「死ぬ」を、李(2017)では「切る」と「자르다」を対照言語学の観点から分析しており、本稿はそれらに引き続くもので「日韓語の個別動詞語彙の対照研究」の一環として行うものである。

2. 辞書の意味記述

具体的な分析に入る前に、本節では「捨てる」と「버리다」に関する辞書の意味記述を確認する。李(2016, 2017)との連続性を確保するために、前者の意味については『デジタル大辞泉』『大辞林』(第三版)を、後者の意味については『표준국어대사전』『고려대 한국어대사전』を参考にした。また、紙面の都合上、例文は最初のもののみを挙げ、番号などには適宜修正を加えた。

<表1> 『デジタル大辞泉』と『표준국어대사전』の意味記述

①不用のものとして、手元から放す。ほうる。投棄する。『ゴミをすてる。⇔拾う。②今までの関係を絶って、そのままかまわないで置く。見捨てる。『妻子をすてる。③かわりのないものとして、ほうっておく。放置する。見過ごす。『すてておけない緊急事態 ④持ち続けてきた思いなどをなくす。熱意や関心などがさめてしまう。あきらめて手を引く。『希望をすてる。⑤俗世間を離れる。『世をすてて山にこもる。⑥かけがえのないものを犠牲にしてもかまわないほどの意気込みで、何かを行う。『命をすてて覚悟で困難に当たる。⑦乗り物を降りて、さらに先へ行く。『タクシーをすてて歩く。⑧(動詞の連用形、または、動詞の連用形に接続助詞「て」を添えた形に付いて)…してしまう、…してほうっておくの意を表す。『言いすてる。

[동사] [1] 【…을 …에】 가지거나 지니고 있을 필요가 없는 물건을 내던지거나 쏘거나 하다. 『휴지를 휴지통에 버리다. [2] 【…을】 ①못된 성격이나 버릇 따위를 떼어 없애다. 『낭비하는 습관을 버리다. ②가정이나 고향 또는 조국 따위를 떠나 스스로 관계를 끊다. 『그는 가정과 고향을 버리고 독립운동의 대열에 뛰어들었다. ③종사하던 일정한 직업을 스스로 그만두고 다시는 손을 대지 아니하다. 『그는 직장을 버리고 나와 개인 사업을 시작하였다. ④직접 깊은 관계가 있는 사람과의 사이를 끊고 돌보지 아니하다. 『조강지처를 버리다. ⑤품었던 생각을 스스로 잊다. 『돈으로 모든 것을 하려고 하는 생각을 버려라. ⑥본바탕을 상하게 하거나 더럽혀서 쓰지 못하게 망치다. 『흙탕물이 튀어 새 옷을 버리고 말았다.

[보조동사] (동사 뒤에서 ‘-어 버리다’ 구성으로 쓰여) 앞말이 나타내는 행동이 이미 끝났음을 나타내는 말. 그 행동이 이루어진 결과, 말하는 이가 아쉬운 감정을 갖게 되었거나 또는 반대로 부담을 덜게 되었음을 나타낼 때 쓴다. 『동생이 과자를 다 먹어 버렸다.

[타동사] ①(사람이 무엇을) 찾지 않을 요량으로 내던지거나 쏜다. ♣그 아이는 착하게도 휴지를 주워서 쓰레기통에 버렸다. ②(어떤 사람이 다른 사람이나 장소를) 인연을 끊고 등지거나 돌보지 않다. ♣그들은 고향을 버리고 도시로 갔다. ③(사람이 버릇을) 떼어 없애다. ♣너는 손톱 깨무는 버릇을 아직 버리지 못했구나. ④(사람이 생각을) 떨쳐 없애다. ♣꿈을 버리다. ⑤(어떤 사람이 다른 사람이나 몸, 물건 따위를) 본바탕을 상하거나 더럽게 하여 망치다. ♣옷을 버리다. ⑥(사람이 일이나 길을) 중도에 그만두다. ♣가업(家業)을 버리다. ⑦(사람이 지위를) 스스로 물러나다. ♣석가모니는 왕의 자리를 버리고 고행을 택했다. ⑧(사람이 숫자를) 계산에 넣지 않다. ♣소수점 이하 둘째 자릿수를 버려라.

以上の辞書の意味記述を参考にすると、特に「捨てる」と関連して、1)＜葬る＞のような意味があったこと、2)一部の地域では＜紛失する＞の意味として用いられること2)、3)動詞の「て」形の下に付いて、補助動詞的に用いたこと、の3点が注目を引く。このような点を踏まえた上で、以下では複合名詞や動詞結合の例も含めて、対照言語学的なアプローチを用いて分析する。

2) ちなみに、共通語と同じ語形で、地域によって意味用法が違う例としては、以下のようなものが挙げられる(Yahoo!知恵袋「誤解を招く方言。私の県には誤解を招く方言があります」(https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1263240557：検索日(2017.11.04)))。

- ・「こわい」を「疲れた」の意味で使う：北海道～東北地方など
- ・「おどろく」を「目が覚める」の意味で使う：南紀・四国・広島・山口・大分など
- ・「おちる」を「車から降りる」の意味で使う：青森・岩手の南部地方・宮城・福島など
(ex. 落ちる人が死んでから乗ってください(←降りる人が済んでから乗ってください))
- ・「がっかりした」を「疲れた」の意味で使う：伊豆諸島など
- ・「なげる」を「(ごみなどを)捨てる」の意味で使う：北海道に分布

3. 考察資料

考察資料としては、1)インターネットで公開されているDaumの日本語辞典(<http://dic.daum.net/index.do?dic=jp>)から採集したもの、2)野村・石井(1987)の『複合動詞資料集』から得られたもの、3)『逆引き広辞苑』(第五版対応)と李(2017)で参考にした辞書³⁾から得られたものを対象にし、その他に筆者が採集したものと作例も加えて分析する。ちなみに、Daumの日本語辞典からは「捨てる」の検索で62件の例文を、「捨て」「すて」の検索でそれぞれ74件と106件の単語と熟語を、「버리다」の検索で1858件の例文を得ることができる。また、野村・石井(1987)の『複合動詞資料集』からは「捨て得る、捨て置く」「言い捨てる、打ち捨てる」のような41語の複合動詞を採集し、『逆引き広辞苑』(第五版対応)を通しては、主に「使い捨て、ばい捨て」のような名詞形の例を確保した。具体例の中には「捨訴(すてそ)、捨歩(すてふ)、捨襷(すてひた)、切り捨て御免(きりすてごめん)」のような江戸時代に用いられたものや「捨て仮名」のような特殊な専門用語なども含まれているが、それらは除外して、1)有意義な研究成果が導き出せる、2)その成果が日本語教育・韓国語教育の現場で活用できる、という2点を考慮しつつ、現代語として比較的よく用いられるものを中心に分析を行う。

4. 具体的な分析

具体的な分析は、辞書の意味記述を参考にしつつ、「捨てる」と「버리다」がどのような対応関係を示すのかという観点から整理していく⁴⁾。

3) 具体的には以下のようなものであり、中には表1と表2の辞書も含まれている。

『岩波国語辞典』(第六版)、『集英社国語辞典』(第一版)、『新明解国語辞典』(第五版)、『大辞林』(第三版)、『デジタル大辞泉』、『明鏡国語辞典』(初版)(以上、日本の国語辞典)、『고려대 한국어대사전』『옛센스 국어사전』『연세한국어사전』『표준국어대사전』(以上、韓国の国語辞典)、『新韓日辞典(例解)』『옛센스 韓日辞典』(전면개정판)、『프라임 한일사전』(제2판 전면 개정)、『朝鮮語辞典』(以上、韓日辞典)、『엘리트 일한사전』『옛센스 日韓辞典』(제4판 전면개정판)、『프라임 일한사전』(제3판 전면 개정)(以上、日韓辞典)、『類義語使い分け辞典』(田・泉原・金1998)、『基礎日本語辞典』(森田、2007)

4) 分析を行う過程において、李(2017)の記述と一部重なるところがあることを断っておく。

4.1 単純動詞の例

4.1.1 相互の対応関係の見られる例

まず、単純動詞として用いられる「捨てる」と「버리다」が対応する例から見てみよう。表3は辞書の意味記述を参考にして、対等な対応関係が認められる意味とその具体例を整理したものである。

<表3> 相互の対応関係の見られる場合の両者の意味とその具体例

番号	「すてる」と「버리다」の意味	例文
①	不用のものとして、自分の手元から離す。ほうる。投棄する。	ごみをごみ箱に捨てる⇔쓰레기를 쓰레기통에 버리다
②	今までの関係を断ち切って、そのまま構わないでおく。または、それに対応する執着を断ち切る。	恋人を捨てる⇔애인을 버리다
③	持ち続けてきた思いなどをなくす。	希望を捨てる⇔희망을 버리다
④	身に付いていたよくない癖や習慣などをなくす。	悪い癖を捨てる⇔나쁜 버릇을 버리다
⑤	みずからを犠牲にする。投げ出す。	祖国のために命を捨てる⇔조국을 위해 목숨을 버리다
⑥	計算で、求める位に満たない端数を見捨てる。省略する。切り捨てる。	小数点以下は捨てる⇔소수점 이하는 버리다

概ね、この6つの意味において両者間に類似性を認めることができよう。若干補足すると、①の対象は具体的なものであり、他に「煙草の吸い殻(담배 껍초)、ボロボロのかばん(너덜너덜한 가방)、腐った肉(썩은 고기)、汚水(구정물)、荷物(짐)、武器(무기)、まだ使えるもの(아직 쓸 수 있는 것)」のような数多くの例が挙げられるが、捨てた結果として対象の空間的な移動が起こるという特徴がある。②～⑥は、①と対照的に対象の空間的な移動を含意せず、②の対象としては「親(부모)、妻子(처자식)、家族(가족)、官職(벼슬)、榮耀榮華(부귀영화)、權利(권리)、大学教授の職(대학교수직)、家業(가업)、俗世(속세)、舞台(무대)」のようなものが、③の対象としては「疑い(의심)、雜念(잡념)、期待(기대)、欲望(욕망)、私心(사심)、未練(미련)、希望(희망)、つまらない感傷(공연한 감상)、悪心(악한 마음)、憎しみ(증오)、信仰(신앙)、先入観(선입관)」のようなものが挙げられる。⑤は「命を捨てる」「身を捨てる」のような形で慣用句的に用いられる用法であり、最後の⑥と関連しては、日本語においては「小数点以下は切り捨てる」のように言うのがより一般的であると思われるが、「小数点以下は捨てちゃえば」「小数点以下は捨てられる」のような例も観察されたので、共

通する意味として分類した。

この6つの意味として用いられる場合は、日本語から韓国語を見ても、韓国語から日本語を見ても「捨てる」⇔「버리다」のような対等な対応関係が認められる。日本語教育または韓国語教育の現場において最優先的に取り上げる共通の意味領域と見て良いだろう。

4.1.2 相互の対応関係の見られない例

次に見るのは、単純動詞として用いられている「捨てる」と「버리다」が対応しない例である。＜表4＞は両者間に相互の対応関係が認めにくい、または認められない場合の意味とその具体例を整理したものである。なお、「버리다」にあって「捨てる」にはない意味については韓国語で記述する。

＜表4＞ 相互の対応関係の見られない場合の両者の意味とその具体例

番号	「すてる」または「버리다」の意味	例文
①	関係がないものとしてほうっておく。放置する。 見過ごす。	捨てておけない緊急事態 내버려 둘 수 없는 긴급사태
②	乗り物を降りてあとはかまわないでおく。	タクシーを捨ててバスに乗り換える。 택시에서 내려 버스로 갈아타다.
③	제 구실을 못하게 하다.	과음해서 위장을 버렸다. 飲み過ぎて胃腸を壊した。

概ね、＜表4＞のような意味において、両者間に相違点が見られると言えそうである。若干補足すると、①の「捨てる」は、韓国語では「버리다」より「내」が付いた「내버리다」に対応させるのが自然であり、②の場合も意味上「～를 버리다」より「～에서 내리다」の方がより自然な対応形になる。また、『연세한국어사전』(1998 : 830)を参考にすると、③の意味は＜물건을 제 구실을 못하게 망치거나 더럽혀 쓰지 못하게 하다＞の場合と＜옳지 못한 일의 영향으로 건강이나 인격을 망치거나 상하게 하다＞の場合に分けられ、前者の対象としては「습기 찬 진흙 때문에 옷을 버렸다」「비가 새는 바람에 기계를 버렸다」のように「구체명사」が、後者の対象としては「매를 아끼면 자식을 버리는 법이다」「술 때문에 몸을 다 버렸다」のように「사람명사」が立つ。いずれも「捨てる」には対応せず、意味上、「壊す、損なう、台無しにする、駄目になる」のような訳が対応する。③の意味は単純動詞として用いられる場合における両者間の最も顕著な相違点と言える。

以上で見たように、単純動詞として用いられる場合、「捨てる」と「버리다」の間には相違

点より共通点が多い。このことが一要因となり、両者間の対照研究は行われていなかったと思われるが、<表4>の③のような際立った相違点が見られることと、以下で議論する例からも明確な相違点が指摘できることを併せて考慮すると、両者を対象にする対照研究は意義のあるものとする。

4.2 複合名詞の例

次に取り上げるのは「～捨て」の例とそれに対応する韓国語である。対象にしたのは、『逆引き広辞』(1999: 729-730)に収録されている19語の「～捨て」であり、(4)はその具体例である。

- (4) 言い捨て、打ち捨て、置き捨て、書き捨て、掻き捨て、掛け捨て、聞き捨て、着捨て、切り捨て、請い捨て、差し捨て、立て捨て、使い捨て、突き捨て、脱ぎ捨て、飲み捨て、穿き捨て、ほい捨て、呼び捨て

形態的にみると、前部要素は「ほい捨て」を除いて、全ていわゆる「動詞連用形」の形を取っており、「置き捨て、掛け捨て、聞き捨て、請い捨て、立て捨て」の5語においては、後部要素に連濁が生じた「～ずて」の読みになっている⁵⁾。このうち、教育現場での活用を考慮し、相対的に分かりやすいものと判断して選定した9語に対して、具体的な例文とそれに対応する韓国語を整理したのが表5である。

<表5> 「～捨て」とそれに対応する韓国語

番号	「～捨て」の例文	対応する韓国語
①	脱ぎ捨てを畳む。	벗어 던진 옷을 개키다.
②	単なる言い捨てに終わる。	단순히 내뱉는 말로 끝나다.
③	飲み捨てのペットボトル	마시다 버린 페트병
④	吸いがらのほい捨ては駄目だよ。	담배꽁초를 획 버려서는 안 돼.
⑤	せっかくの忠告を聞き捨てにする。	모처럼의 충고를 흘려 버리다.
⑥	着捨てにする。	입을 만큼 입다가 버리다.
⑦	小数点以下を切り捨てにする。	소수점 이하를 잘라 버리다.
⑧	使い捨てにする。	한 번 쓰고 버리다.
⑨	上司を呼び捨てにする。	상사를 경칭을 생략하고 부르다.

5) 「ほい捨て」は「ほいと捨てる」という「副詞+動詞」構造から生まれたものと考えられる。また、『デジタル大辞泉』を参考によると、「置き捨て、掛け捨て、聞き捨て」は「おきすて、かけすて、ききすて」とも言う。

このような整理を通して確認したいのは、1)「～捨て」は品詞の分類では名詞であり、動詞化のためには「～にする」の助けを必要とすること、2)「～捨て」の逐語訳として挙げられる「～버림」は「*벗어 버림을 개키다, *단순한 말하고 버림으로 끝나다, *마시다 버림의 페트병, ???담배꽂초의 획 버림은 안 돼, *모처럼의 충고를 듣고 버림으로 하다」から分かるように容認されないこと、3)「～捨てにする」の自然な対応形は、逐語訳の「～버림으로 하다」ではなく、動詞形の「～버리다」であること、の3点である⁶⁾。そして、<表5>の「～捨て」の具体例と関連して、野村・石井(1987)の『複合動詞資料集』を参考にすると、③の「飲み捨て」と④の「ばい捨て」を除いては、それぞれの動詞形、つまり「脱ぎ捨てる、言い捨てる、聞き捨てる、着捨てる、切り捨てる、使い捨てる、呼び捨てる」の存在が確認でき、インターネットではこれらの例文はもちろん、「飲み捨てる」の例文も観察される。結論的に、日本語では動詞形「～捨てる」の実例と共に、名詞形「～捨て」の使用もよく見受けられることが指摘できる。(5)はその一例である。

- (5) a. 소수점 이하를 잘라 버리다. (cf. *소수점 이하를 잘라 버림으로 하다)
 b. 小数点以下を切り捨てる。
 c. 小数点以下を切り捨てにする。

「～捨て、～捨てる」と「～버림、～버리다」の間に見られるこのような関係は、안(2002 : 239-240)が挙げた以下の事例と類似するものと見ることができる。なお、括弧内の非文は引用者によるものであり、(7)と(8)の例は、유(2000)の例文を再引用したものである。

- (6) a. 어떤 신문을 읽고 있으세요? (cf. *어떤 신문을 읽으이세요?)
 b. どの新聞を読んでいますか。
 c. どの新聞をお読みですか。
 (7) a. 일찍 자고 일찍 일어난다. (cf. *일찍 잠 일찍 일어남 한다)
 b. 早く寝て早く起きる。
 c. 早寝早起きする。

6) 名詞であるため、動詞化のために「する」の助けが必要であり、また、その韓国語訳として動詞形が対応する事例としては、他に「行き来する車が多い (cf. *行き来る車が多い) ⇔ 오가는 차가 많다 (cf. *오가기 하는 차가 많다)」のような対義語同士の結合も挙げられる。ちなみに、両言語の対義語同士の結合については、李(2008, 2012)の分析があり、李(2012 : 76)では「오가기 하다」のような言い方をしないのは、「より単純な形式で表すべき意味が実現するとき、より複雑な形式で表すことはできない。但し、相応の理由や効果がある場合には阻止は除外され得る」という語彙の阻止(lexical blocking)によって説明できる、ということが指摘されている。

- (8) a. 병원에 다닌다. (cf. *병원다니기 한다)
 b. 病院に通う。
 c. 病院通いする。(以上、안2002 : 239-240)

안(2002 : 240)は、以上の例文を通して「일본어는 동사술어문까지도 명사술어문으로 바꿀 만큼 명사가 중심이 되는 표현을 선호한다」と述べており、また、金(2003 : 67)は、(9)と(10)のような例の対照を通して、「日本語は相対的に名詞構造を志向する傾向が著しく、逆に韓国語は動詞構造を好み、もともと名詞構造が存在しない場合も多い」という、안(2002)と類似の指摘をしている。

- (9) a. 雨の日に会っためがねの子覚えてる?
 b. 비 오던 날 만났던 안경 낀 애 기억나?
 (lit. 雨降っていた日会っためがねかけた子記憶出る?)
 (10) a. なんか探し物? — うん、忘れ物.
 b. 뭐, 찾는 거야? — 응, 뭐 좀 잊어버려서.
 (lit. 何探すの? — うん、何ちょっと忘れてしまって) (以上、金2003 : 3)

(6)~(10)のような例を対照した結果は、その結論として、안(2002)では「名詞中心の日本語と動詞中心の韓国語」のように、金(2003)では「日本語の名詞志向構造(nominal-oriented structure)と韓国語の動詞志向構造(verb-oriented structure)」のように特徴付けられているが、前述した「~捨て」とそれに対応する韓国語訳もその特徴付けに該当する事例として挙げられるのは一つのポイントになる。

- (11) a. 使い捨てるライター
 b. 쓰고 버리는 라이터
 (12) a. 飲み捨てるペットボトル
 b. 마시다 버린 페트병
 (13) a. 歩きたばこは、ぼい捨てる原因になるだけではなく、~
 b. 보행 중 흡연은 (담배꽂초를) 훅 버리는 원인이 될 뿐만 아니라, ~

日本語教育という観点から見た場合、韓国人日本語学習者は、(11)~(13)の下線に対応する日本語として「使って捨てるライター」「飲んで捨てたペットボトル」「ぼいと捨てる原因」のような訳を導き出す可能性は十分あり、これらも日本語として成立しないわけではな

い。しかし、日本語力を高めるためには、「使い捨てるライター」「飲み捨てるのペットボトル」「まい捨てる原因」のような言い方を習得することも必要であり、このことについては指導する側も留意する必要があるだろう。(4)の例を対象にして、表5のような形に整理したのはこのような理由からである。

4.3 動詞結合の例

次に取り上げるのは動詞結合の例である。具体的には「捨てる」と「버리다」を後部要素とする動詞結合の内、「言い捨てる」「내버리다」のような「複合動詞」と「먹어 버리다」のような「補助動詞結合」を対象にして考察する。参考までに、本稿における「日韓両言語の動詞結合の体系」(李2015：219-214、2017：200)と「「捨てる」と「버리다」の動詞結合の体系」を挙げておく。ちなみに、この体系における最も特徴的な点は、動詞結合の前部要素を「動詞語幹」という概念を適用して分析することであるが、紙面の都合上、詳細は割愛する。<表7>における「×」は、該当する現代語の実例が見当たらないことを意味し、介在要素には下線が施してある。

<表6> 日韓両言語の動詞結合の体系

日本語の動詞結合				韓国語の動詞結合			
タイプ	下位分類①	下位分類②	具体例	具体例	下位分類②	下位分類①	タイプ
介在要素無し	複合動詞	語彙的複合動詞	褒め称える	오가다	—	複合動詞	介在要素無し
		統語的複合動詞	食べ始める				
介在要素有り	複合動詞	複合動詞	見て取る	알아차리다	複合動詞	複合動詞	介在要素有り
		補助動詞結合	食べてみる	먹어 보다	補助動詞結合		
	動詞句	—	茹でて食べる	삶아 먹다	—	動詞句	

<表7> 「捨てる」と「버리다」の動詞結合の体系

日本語の動詞結合				韓国語の動詞結合			
タイプ	下位分類①	下位分類②	具体例	具体例	下位分類②	下位分類①	タイプ
介在要素無し	複合動詞	語彙的複合動詞	言い捨てる	×	—	複合動詞	介在要素無し
		統語的複合動詞	×				
介在要素有り	複合動詞	複合動詞	×	내버리다	複合動詞	複合動詞	介在要素有り
		補助動詞結合	×	먹어 버리다	補助動詞結合		
	動詞句	—	食べて捨てる	먹고 버리다	—	動詞句	

このように整理してみると、両動詞が後部要素として用いられる動詞結合の分布上の特徴が把握できる。つまり、「～捨てる」に関しては、「食べ始める・読み切る」のような統語的複合動詞、「見て取る・食って掛かる」のような介在要素有りタイプの複合動詞、「食べてみる・見ておく」のような補助動詞結合とそれぞれ同類に属する例を形成しないことが確認できる。また「～버리다」に関しては、「오가다・오르내리다」のように前部要素に「動詞語幹」が立つものが存在しないことと、介在要素有りタイプの動詞句の中には「(안 탄 부분만) 먹고 버리다」「(편지를 전부) 가져다 버리다」のように、介在要素 {-고} {-아다/-어다} が含まれているものもある、ということの2点が指摘できる。

4.3.1 複合動詞

<表6>から確認できるように、日韓両言語の複合動詞は「介在要素無しタイプ」と「介在要素有りタイプ」とに二分できる。この二分は「介在要素の有無」という形態的基準に基づくもので⁸⁾、李(2009a : 30)は両言語の複合動詞について、「日本語の複合動詞は、形態構造上、主に「介在要素無しタイプ」の形で形成されるのに対して、韓国語の複合動詞は、形態構造上、主に「介在要素有りタイプ」の形で形成される」という分布上の相違を指摘している。このことを踏まえた上で、「捨てる」と「버리다」が後部要素になる以下の例を見てみよう。

- (14) a. 言い～、打ち～、書き～、かなぐり～、聞き～、切り～、取り～、投げ～、脱ぎ～、乗り～、振り～、見～
 b. 置き～、思い～、掛け～、噛み～、着～、裂き～、叩き～、使い～、つかみ～、つまみ～、解き～、流し～、眺め～、抜き～、吐き～、履き～、払い～、掘り～、撒き～、むしり～、焼き～、破き～、破り～、呼び～、読み～、笑い～
 (15) 내다～、내～、쓸어～、읽어～、잊어～、저～、퍼더～

(14)の例は『複合動詞資料集』の例を挙げたもので(野村・石井1987 : 111)、(14a)は出典数が3つ以上のものであり、(14b)は出典数が二つ以下のものである⁹⁾。このように区別して提示

7) <表7>の「내버리다」の「내」を「내어」の省略形と分析したのは、김(1996 : 481)に従った。なお、動詞結合の前部要素が「語幹そのもの」なのかどうかに関しては、이(2006 : 86-89)も参照されたい。

8) 両言語の介在要素の種類については、李(2009b)を参照されたい。ちなみに、李(2009b)は、両言語の動詞結合を対象にして、前部要素に「連用形」「語基」「語幹」という概念をそれぞれ適用した場合、どの分析がより妥当であるかを対照言語学的な観点から検討したものであり、介在要素無しタイプの複合動詞と介在要素有りタイプの複合動詞の間に見られる相違点として、境界部における副助詞類の介入可否を挙げている(ex.*熱気を帯び{は}はじめた/*무르{는}익는 ⇔ 選挙に打って{は}出たが/한 눈에 알아{는} 봤지만)。

する理由は、「～捨てる」の中で相対的によく用いられる具体例を把握するためである。また、(14a)の下線は『角川必携国語辞典』(第六版)に、(15)の例は『연세한국어사전』に収録されているものであるが¹⁰⁾、両辞典に「～捨てる」と「～버리다」のそれぞれの「動詞結合」が見出し語として10個と7個しか載っていないことを考慮すると、複合動詞を形成する「～捨てる」と「～버리다」の生産性は高くはなく、この点は両者の共通点と言える。但し、(15)の「잃어버리다, 잊어버리다」のような例は日本語では「無くしてしまう、忘れてしまう」と訳される補助動詞結合と見るべきものであり、複合動詞の生産性は「～捨てる」の方が「～버리다」より相対的にやや高いと言えよう。また、(14)の例と(15)の例とでは、前者は介在要素無しタイプであるのに対して、後者は介在要素有りタイプである、という形態上の相違が指摘できる。この形態的違いは、結果的に前者の日本語の例は複合動詞としての認定に意見が分かれることがなく、後者の韓国語の例は複合動詞ではない可能性をも含意する。実際に、(15)の「잃어버리다, 잊어버리다」のような例は、複合動詞ではなく、補助動詞結合と判断されるものであり、すると、韓国出版の韓国語国語辞典では見出し語として補助動詞結合の例も収録している結果となる¹¹⁾。通常、日本出版の日本語国語辞典で「無くしてしまう、忘れてしまう」のような例を見出し語として立てないことと比べると、このことも相違点の一つとして挙げられよう。

個別的に幾つかの例について補足すると、「焼き捨てる」のような例は「焼いて捨てる」つまり、意味構造的には「焼くことによって捨てる」と分析でき、松本(1998: 52-53)・影山(1999: 194-196)などが「手段」複合動詞と分類した「押し倒す、踏みつぶす」のような例と同類のものと見ることができる。「切り捨てる、投げ捨てる、噛み捨てる、叩き捨てる、むしり捨てる、破き捨てる、破り捨てる」なども同類に分類できるが、これらが韓国語で「태워 버리다, 잘라 버리다, 던져 버리다」のような介在要素有りタイプに訳されることは、1)「*태우버리다, *자르버리다, *던지버리다」のような介在要素無しタイプには全くなならない(下線が「動詞語幹」であることを確認されたい)、2)韓国語の「태워 버리다, 잘라 버리다, 던져

9) 同資料の出典情報は「B: 文学作品・論説文などにあるもの、Q: Bになくて雑誌九十種にあるもの、Z: B・Qになくて総合雑誌にあるもの、G: 『学研国語大辞典』にあるもの、S: 『新明解国語辞典(第3版)』にあるもの、I: 『岩波国語辞典(第3版)』にあるもの、K: 『国立国語研究所資料集7動詞・形容詞問題語用例集』にあるもの」とおりである(野村・石井1987: 3)。

10) ちなみに、『角川必携国語辞典』(第六版)には48,526語の見出し語が、『연세한국어사전』には49,579語の見出し語が収録されており、両方とも現代語を扱っている点も共通する(李2005: 4)。

11) ちなみに、『연세한국어사전』には見出し語として「눈감아 주다」「살려주다」「살아가다」「일려두다」のような例も収録されており、これらは日本語では「(他人の欠点・過ちなどを)見逃してやる」「救ってやる・助けてくれる」「生きていく」「申し付けておく」のように訳される補助動詞結合の例と判断される。

버리다」は複合動詞ではなく、動詞句と見るのが妥当である(태워{서/ 전부(모조리·남김없이)} 버리다)、という2点と関連するので、対照言語学的に興味深い。結論的に、日本語の複合動詞「～捨てる」の一部は、韓国語の動詞句「～어 버리다」が対応することになる。

また、他の例を見ると、「言い捨てる、書き捨てる、聞き捨てる、見捨てる、思い捨てる、読み捨てる」のような例は前部要素に知覚行為や言語行為を表す動詞が立っており(松本1998: 65)、これらは「*말해 버리다、*써 버리다、*들어 버리다」などのようには訳されず、「내뱉듯이 말하다、되는데로 막 쓰다、못 들은 채하다」などのように訳されるので、韓国人日本語学習者にとっては、前述の「焼き捨てる、切り捨てる、投げ捨てる」類より難易度の高いものと言えよう。また「乗り捨てる」の場合は、「犯人は車を乗り捨てて逃げた→범인은 (타고 온) 차를 버리고 도망쳤다」から確認できるように、前部要素「乗る」が格支配能力を持たず(*犯人が車を乗って逃げた/犯人が車を捨てて逃げた)、韓国語の対応形という観点からは「버리다」のみが対応するか、「乗る」が生きている形としては「乗り捨てられた盗難車→타고 버려진 도난차」のように「타고 버리다」が対応することに注意を要する。(15)の「저버리다、퍼더버리다」における前部要素「저」と「퍼더」は、現代語としては元の動詞が復元できないという点で特徴的である。

4.3.2 補助動詞結合

「버리다」の意味用法について考察する際に、欠かせないものとして、介在要素有りタイプの補助動詞結合として用いられる「～어 버리다」の存在がある。

- (16) a. 살이 까맣게 타 버렸다.
 b. *肌が黒く焼けて捨てた。
 c. 肌が黒く焼けてしまった。
- (17) a. 중요한 서류를 잃어 버렸다.
 b. *大事な書類をなくして捨てた。
 c. 大事な書類をなくしてしまった。

강(1998: 72-148)で「V2가 의존적인 구성」の一例として分類されている「～어 버리다」は、순(1996: 189-203, 341-350)・박(2005: 165-172)・서(2006: 625-632)などの多くの研究で分析されており、主な特徴としては、1)それ自体の本来の意味から後退している、2)格支配能力を有しない(*살이 버렸다/*중요한 서류를 버렸다¹²⁾、3)前部要素に自動詞(타다)・他動詞(잃다)のみならず、「늪다」のような形容詞も立つことができる。4)「～어 놓다」「～어 대다」

のような他の補助動詞結合と比べて、代用形「그래」(「그리하여」の省略形)による前部要素の置き換えが自然である(「철수가 가방을 던져 버리자 영희도 그래 버렸다」「만약 네가 죽어 버린다면 나도 그래 버릴 거야」(강1998 : 82, 143-144))、5)主語の人称制限がない、6)使用頻度が高い¹³⁾、といったものが挙げられる。손(1996 : 341-342)によると、「버리다」が「補助用言」として用いられたのは、「농업정언해」(1461年刊行)・「몽산화상법어약록」(1472年刊行)のような15世紀の資料からであり、その歴史は長いことが分かる。

「버리다」が以上のように補助動詞として用いられるのに対して、「捨てる」には現代語では同様の意味用法がない。(16a)と(17a)に対応する日本語として、(16b)と(17b)のような文は成立しない。興味深いことは、2節で確認した通り、歴史的には「捨てる」も補助動詞的に用いられたことがある、という点であり、(18)の下線はその具体例に該当する。なお、(18)の例は『日本国語大辞典』(2001 : 993)と個人ブログ(<http://santalab.exblog.jp/d2015-12-05/> : 検索日2017.12.01.)から引用したものである。

- (18) a. 平家(13C前)八・鼓判官「是は鼓判官が凶害とおぼゆるぞ。其鼓め打破て捨よ」
 b. 保元(1220頃か)上・新院御所各門々固めの事「鎧の袖にて扨ひ、蹴散らしてすてなん」
 c. 太平記(14C後)九・越後守仲時已下自害事「思ふに当国・他国の悪党共が、落人の物具剥がんとしてぞ、集りたるらん。手痛く当て捨(スツ)る程ならば、命を惜まで戦ふ程の事はよも非じ。ただ一懸けに駆け散らして捨てよ」と云ふままに」

同辞書には上の例文の語釈として「動詞の連用形、または動詞に助詞「て」を添えたものに付いて補助動詞的に用いる。…てしまう。…てのける」と記述されており、これに従うと、(18)の各下線は、順に「(その鼓判官めを)打ち破ってしまえ」「(鎧の袖で扨ひのけ)蹴散らしてしまひましよう」「(ただ一駆け駆けて)蹴散らしてしまえ」のような現代語訳が当てられよう。年代で言えば、(18)の「捨てる」文は13世紀前半～14世紀後半に当たり、結果的に前述の「버리다」の15世紀に先立つ。

このように補助動詞的に用いられた「捨てる」は、次第に「しまう」に取って代わられたと考えられる。(19)は『日本国語大辞典』(2001 : 1008)に収録されている補助動詞として用いら

12) 念のために補足するが、この文自体は問題なく成立するが、(17a)の文では実際に「大事な書類を捨てた」という意味ではないので、格支配能力の有無を判断するテストからは非文になるのである。

13) 손(1996 : 197)は、「버리다」が「현대 국어에서 가장 활발한 쓰임을 보이는 보조용언 가운데 하나」であると指摘し、その理由として、1)문맥에서 상반된 심리태도를 비롯하여 여러가지 태도를 표현할 수 있다、2)중세 때부터 사용되었던 형태로 사용의 역사가 오래되었다、という2点を挙げている。

れている「しまう」の4つの例文を引用したものである。

- (19) a. 浮世草子・好色五人女(1686)一・一「追付勘当帳に付てしまふべし」
 b. 浄瑠璃・平仮名盛衰記(1739)二「そこを源太が了簡して、殺して仕舞(シマフ)仕様はりうり
 うは見をれ」
 c. 滑稽本・浮世風呂(1809-13)前・下「くやししくは石垣へあたまを打付(ぶつつけ)て、死(しん)
 ずでもしまったが能(い)い」
 d. 当世書生気質(1885-86)＜坪内逍遙＞一「先刻園田さんに戴(いた)いた物を、何処かへ無
 (なく)してしまったからサ」

同辞書にはこの例文の語釈として「(動詞の連用形に助詞「て」を添えた形に付いて)その動作が完了する意を表わす。…し終わる。また、完了の意をこめて、動作を強めていう」と記述されており、これは現代語「～てしまう」にもそのまま当てはめることができよう。年代で言えば、(19)の文は17世紀後半～19世紀後半に当たる。結果的に、(18)と(19)の例文に基づいて推測すれば、補助動詞的に用いられた「捨てる」が次第に「しまう」に取って代わられたのは、14世紀後半から17世紀後半の間であると考えられる。

結論的に、現代語において補助動詞結合「～어 버리다」は「～て捨てる」との間に対等な対応関係が成立せず、これは両動詞間に見られる大きな相違点の一つになる。なお、「～어 버리다」と「～てしまう」の対照研究としては、構文論的特徴を中心に考察した李(2007)と金(2016)、コーパス基盤対照言語学の方法に基づいて比較分析した筒井(2012)、相互の対応関係について考察した金(2015)などがあり、これらを通して両者の共通点と相違点が確認可能なので、参照されたい。

5. まとめ

本稿は「日韓語の個別動詞語彙の対照研究」の一環として、除去動詞「捨てる」と「버리다」を対照言語学の観点から考察したものである。主な結果を要約すると、以下の通りである。

第一に、単純動詞として用いられる両者の間には共通する意味が多く、その一方で、相違点としては「버리다」の〈제 구실을 못하게 하다〉という意味が「捨てる」にはない、という点が最も顕著な違いと言える。ちなみに、当該の意味は日本語では「壊す、損なう、台無

しにする、駄目になる」のような訳が対応する。

第二に、複合名詞の例として挙げられる「～捨て」形とそれの逐語訳「～버림」形とでは、後者より前者の方が使用頻度が高い。実例として「使い捨てるライターvs*쓰고 버림의 라이터vs쓰고 버리는ライター」のような対応関係は、안(2002)の「名詞中心の日本語と動詞中心の韓国語」と、金(2003)の「日本語の名詞志向構造(nominal-oriented structure)と韓国語の動詞志向構造(verbal-oriented structure)」のような特徴付けに該当する事例として挙げることができる。

第三に、動詞結合「～捨てる」に関しては、「食べ始める」のような統語的複合動詞、「見て取る」のような介在要素有りタイプの複合動詞、「食べてみる」のような補助動詞結合とそれぞれ同類に属する例を形成しないことが確認できる。また「～버리다」に関しては、「오가다」のように前部要素に「動詞語幹」が立つものが存在しないことと、介在要素有りタイプの動詞句の中には「(안 탄 부분만) 먹고 버리다」「(편지를 전부) 가져다 버리다」のように、介在要素 {－고} {－아다/－어다} が含まれているものもある、ということの2点が指摘できる。

第四に、複合動詞の生産性は「～捨てる」の方が「～버리다」より相対的にやや高く、「焼き捨てる」のような「手段」複合動詞が韓国語で「태워 버리다」のような介在要素有りタイプに訳されることは、形態的に「*태우버리다」のような介在要素無しタイプには全くならないことと、韓国語の「태워 버리다」は複合動詞ではなく、動詞句と見るのが妥当であることの2点と関連するので、対照言語学的に興味深い。結果的に、日本語の複合動詞「～捨てる」の一部は、韓国語の動詞句「～어 버리다」が対応することになる。

第五に、補助動詞的に用いられた「～て捨てる」の例は13世紀前半～14世紀後半の資料から確認でき、その一方で補助動詞結合「～어 버리다」の存在は15世紀の資料から確認できる。前者の用法は14世紀後半から17世紀後半の間に次第に「～てしまう」に取って代わられたと考えられ、その結果、「잊어 버리다vs*忘れて捨てるvs忘れてしまう」から分かるように、現代語における補助動詞結合「～어 버리다」は「～て捨てる」との間に対等な対応関係が成立せず、これは両動詞間に見られる大きな相違点となる。

【參考文獻】

- 강현화(1998)『국어의 동사연결 구성에 대한 연구』한국문화사, pp.72-148
- 김계곤(1996)『현대 국어의 조어법 연구』박이정, p.481
- 서정수(2006)『국어문법·수정 삼판』한세본, pp.625-632
- 손세모돌(1996)『국어 보조용언 연구』한국문화사, pp.189-203, pp.341-350
- 박선옥(2005)『국어 보조동사의 통사와 의미 연구』도서출판 역락, pp.165-172
- 안중환(2002)『능동구조의 한국어와 피동구조의 일본어』J&C, pp.231-241
- 유은성(2000)『日本語の「する」と韓国語の「하다/hata」의語形成及び表現法に関する対照研究』広島大学大学院教育学研究科博士学位論文
- 이선영(2006)『국어 어간복합어 연구』태학사, pp.86-89
- 李忠奎(2005)「語形成に関する日韓語対照研究—「V+V」タイプの複合動詞を中心に—」北海道大学大学院文学研究科平成17年度修士論文, pp.1-72
- _____(2008)「日韓語の複合動詞形成システムの相違—対義語同士の組み合わせを中心に—」『国語国文研究』134号、北海道大学国語国文学会, pp.1-17
- _____(2009a)「日韓語の動詞結合の対照研究—「食べる/먹다」をV2とする例を中心に—」『日本文化学報』41輯、韓国日本文化学会, pp.17-38
- _____(2009b)「形態レベルからみた日韓語の動詞結合—「連用形」「語基」「語幹」を適用した形態構造分析—」『日本語文学』43輯、韓国日本語学会, pp.89-117
- _____(2012)「日本語と韓国語の複合動詞の相違点—塚本(2009)の相違点の批判的な検討—」『日本文化学報』54輯、韓国日本文化学会, pp.65-81
- _____(2015)「韓国語と日本語の動詞結合の体系—和田(2011)の批判的な検討を通して—」『日本文化学報』64輯、韓国日本文化学会, pp.199-217
- _____(2016)「「죽다」と「死ぬ」との対照研究」『日本文化学報』71輯、韓国日本文化学会, pp.97-116
- _____(2017)「切斷動詞「切る」と「자르다」の対照研究」『日語日文學』77輯、大韓日語日文学会, pp.193-210
- 李熙卿(2007)「『-てしまう』と『-어/어 버리다』의構文論的特徴の考察」『日語日文學研究』60輯-1号、韓国日語日文学会, pp.153-169
- 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房, pp.74-177
- _____(1999)『形態論と意味』くろしお出版, pp.194-196
- 金恩愛(2003)「日本語の名詞志向構造(nominal-oriented structure)と韓国語の動詞志向構造(verbal-oriented structure)」『朝鮮学報』188輯、朝鮮学会, pp.1-83
- 金京姬(2015)「韓·日両言語の翻訳に見られる「-てしまう」と「-어 버리다」の対応関係について」『比較日本学』33輯、한양대학교 일본학국제비교연구소, pp.107-130
- 金秀榮(2016)「日韓両言語の補助動詞「てしまう」と「아/어 버리다」의対照研究—統辭的な特徴を中心に—」『日本近代學研究』53輯、韓国日本近代学会, pp.51-72
- 国立国語研究所(2004)『分類語彙表—増補改訂版』大日本図書, p.204
- 筒井昭博(2012)「補助動詞「てしまう」と「아/어 버리다」—コーパス基盤対照言語学による考察—」『日本研究』53号、韓國外國語大學校 日本研究所, pp.219-252
- 田忠魁・泉原省二・金相順(1998)『類義語使い分け辞典』研究社
- 野村雅昭・石井正彦(1987)『複合動詞資料集』国立国語研究所
- 松本曜(1998)「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」『言語研究』114号、日本言語学会, pp.37-83
- 森田良行(2007)『基礎日本語辞典』十二版、角川学芸出版

【参考資料】

<辞書類>

- 『고려대 한국어대사전』(2009) (<http://dic.daum.net/index.do?dic=kor>) 고려대학교 민족문화연구원
 『옛센스 국어사전』(1996)민중서림
 『연세한국어사전』(1998)두산동아
 『표준국어대사전』(1999)(<http://stdweb2.korean.go.kr/main.jsp>) 국립국어연구원
 『岩波国語辞典』(第六版)(2000)岩波書店
 『角川必携国語辞典』(第六版)(2004)角川書店
 『逆引き広辞苑』(第五版対応)(1999)岩波書店
 『集英社国語辞典』(第一版)(1993)集英社
 『新明解国語辞典』(第五版)(1997)三省堂
 『大辞林』(第三版)(<https://kotobank.jp/dictionary/daijirin/>)小学館
 『デジタル大辞泉』(<https://kotobank.jp/dictionary/daijisen/>)小学館
 『日本国語大辞典』(第二版)小学館
 『明鏡国語辞典』(初版)(2003)大修館書店
 『新韓日辞典(例解)』(1996)민중서림
 『옛센스 韓日辞典』(전면개정판)(2006)민중서림
 『프라임 한일사전』(제2판 전면 개정)(2009)두산동아
 『朝鮮語辞典』(2005)小学館
 『엘리트 일한사전』(1993)YBM 시사영어사
 『옛센스 日韓辞典』(제4판 전면개정판)(2006)민중서림
 『프라임 일한사전』(제3판 전면 개정)(2005)두산동아
 Daum의 日本語辞典(<http://dic.daum.net/index.do?dic=jp>)

<その他>

- Yahoo!知恵袋「誤解を招く方言。私の県には誤解を招く方言があります」
 (https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1263240557 : 検索日2017.11.04.)
 個人ブログ(<http://santalab.exblog.jp/d2015-12-05/> : 検索日2017.12.01.)

논문투고일 : 2018년 06월 19일
 심사개시일 : 2018년 07월 17일
 1차 수정일 : 2018년 08월 06일
 2차 수정일 : 2018년 08월 12일
 게재확정일 : 2018년 08월 16일

 <要旨>

「捨てる」と「버리다」との対照研究

李忠奎

本稿は、除去動詞「捨てる」と「버리다」を対照言語学の観点から考察したものである。その結果、以下のことが明らかにされた。

- 1) 単純動詞「버리다」の〈제 구실을 못하게 하다〉という意味は「捨てる」ではなく、その対応形としては「壊す、損なう、台無しにする、駄目になる」のような訳が挙げられる。
- 2) 複合名詞「~捨てる」形とそれの逐語訳「~버림」形とでは、後者より前者の方が使用頻度が高い。
- 3) 複合動詞「~捨てる」と「~버리다」とでは前者の方が生産性が高く、「焼き捨てる」のような「複合動詞」は韓国語では「태워 버리다」のような「動詞句」が対応する。
- 4) 補助動詞的に用いられた「~て捨てる」の例は13世紀前半~14世紀後半の資料から、「~어 버리다」の例は15世紀の資料から確認できる。前者の用法は14世紀後半から17世紀後半の間に次第に「~てしまう」に取って代わられたと考えられ、その結果、現代語における補助動詞結合「~어 버리다」は「~て捨てる」との間に対等な対応関係が成立しない。

A Contrastive Study of Japanese 'suteru' and Korean 'beolida'

Lee, Chung-Kyu

The purpose of this paper is to examine the removal verb 'suteru(throw away)' and 'beolida(throw away)' from a contrastive linguistic point of view. The findings in this study are as follows :

Firstly, the meaning of a simple verb 'beolida' <je gusil-eul moshage hada(spoil ; inhure ; impair)> is not implicit in the verb 'suteru' while the verbs such as 'kowasu(injure), sokonau(lose), dainasinisuru(spoil) and dameninaru(spoil)' can be taken as a corresponding form.

Secondly, between the compound noun '~sute' and its literal translation '~beolim', the former is more frequently used than the latter.

Thirdly, the compound verb '~suteru' is more productive than '~beolida', and compound verb such as 'yaki suteru(burn up)' corresponds to verb phrase 'tae-wo beolida(burn up)' in Korean.

Finally, the examples of '~te suteru' as an auxiliary verb were found in the first half of the 13th century or the second half of the 14th century, while those of '~eo beolida' as an auxiliary verb has been available since 15th century. The former usage seemed to have gradually been superseded by '~te simau' between the late 14th and late 17th centuries. As a result, no equal correspondence is established between the auxiliary verb combination '~eo beolida' and '~te suteru' in modern languages.